

会議名	令和 5 年度西尾市子ども読書推進委員会
日 時	令和 6 年 1 月 25 日（水）午後 2 時～3 時
場 所	西尾市立図書館 会議室
出席者 【敬称略】	委 員 安井克彦（委員長）、伊與田明美、鈴木貴之（副委員長）、森田真弓、 稲葉弘子、杉田久美子、今本政勝、齋藤俊幸 事務局 生田美恵、石崎明美
配布資料	・委員会次第 ・第 3 次施策達成度進捗状況表（令和 4 年度実績） ・第 4 次施策達成度進捗状況表（令和 5 年度見込み） ・西尾市子ども読書推進委員会名簿

委員会の中で出されたことは以下のとおり。

1 あいさつ

- ・鈴木部次長あいさつ
- ・各委員自己紹介
- ・委員長、副委員長選出

2 議題

（1）西尾市子ども読書活動推進計画進捗状況について・令和 4 年度実績（第 3 次計画）

・令和 5 年度見込み（第 4 次計画）

委員長 （1）の西尾市子ども読書活動推進計画進捗状況について、第 3 次計画について令和 4 年度実績から説明をお願いします。

事務局 令和 5 年 3 月末で西尾市子ども読書活動推進計画の第 3 次が終了したことに伴いまして、令和 4 年度の実績は第 3 次計画、令和 5 年度の見込みは第 4 次計画での検討となります。

まずは、第 3 次計画の達成度の評価から見ていきたいと思います。お手元の A3 の資料「第 3 次施策達成進捗状況表（令和 4 年度実績）」をご覧ください。具体策の目標指数に対して、各担当課から令和 4 年度の実績を提出していただきましたので、その内容を反映させています。

基本方針 1：家庭・地域における子どもの読書活動の推進につきましては、ほとんどの具体策に対して最終目標に達していますので評価は○か◎が多くなっています。

通し番号 7「幼稚園・保育園の絵本を家庭での読書推進に活用する」に関しては、コロナ禍で園の絵本を貸さない対策をしている園があるため目標達成度は、65%となっています。

また、通し番号 8「資料が利用できる場の開設や運営を支援する」に関しては、1カ所鶴城ふれあいセンターに図書館の除籍本を置くコーナーを設置しました。平成 29 年度には、佐久島ナビステーション、平成 30 年度には、佐久島開発総合センターに開設しているため、第 3 次計画に 3カ所設置したことになります。最終目標が 5カ所のため、評価を△としました。

通し番号 10「保健センターの図書コーナーの整備・充実を図る（外国語図書含む）」では、最終目標 2,640 冊に対して年 600 冊と目標値に及びませんが、令和 2 年 12 月から吉良保健センターへの配本を中止したことと、西尾保健センターへは、隔月 100 冊という配本冊数が適切なため、評価を◎としました。

次に、基本方針 2；学校等における子どもの読書活動の推進と学校図書館の充実、においても、ほとんどの具体策で目標が達成されましたので、評価は○か◎が多くなっています。しかし、通し番号 24「児童・生徒一人当たり毎年 1 冊以上の図書資料を購入する」と、通し番号 25「学級文庫の資料の充実を図る」が目標を下回っていたため△の評価としました。

次に、基本方針3；図書館における子どもの読書活動の推進と図書館の充実では、令和2年度から続くコロナの影響で行事が中止になったり、人数制限をしたため△が5つ、×が1つの評価となりました。通し番号30「おはなし会等を実施する」では、令和4年10月からボランティアによるおはなし会が再開されました。令和3年度は、実績が38%、令和4年度が70%でしたので、対前年比としては大幅に増えています。

また、通し番号32「図書館訪問、職場体験を受け入れる」、33「中高生の図書館ボランティアを募り受け入れる」、34「ブックスタート後にブックスタートフォローおはなし会を実施する」もコロナの影響を受け、最終目標には及びませんでした。しかし、おはなし会同様に前年度対比での実績は大幅に伸びています。長引くコロナの影響で、令和4年度は、参加者の人数はコロナ前と比べて減っているものの、前年度対比では数値が伸び、徐々に日常を取り戻している結果となりました。通し番号37「読書の日を周知する」では、読書の日を知っている人の割合は5%でした。これは、令和5年3月発行の図書館運営基本計画作成の際に実施したランダムに選ばれた一般市民へのアンケート結果です。令和3年度実績の37%と比べて大幅に低くなっています。令和3年度は図書館に来館された、図書館利用者へのアンケート結果のため、認知度に関きが出ています。

次に、基本方針4；子どもの読書活動を推進するための理解・関心の普及とネットワーク化では、多くの項目で目標が達成されました。しかし、通し番号54「予約資料の受取や返却ができる場所と図書館のネットワーク化を進める」に関しては、システム設置に費用がかかるため、新たに図書館システムとネットワークを結んだ施設はありませんでしたので、評価を×としました。

以上、第3次計画、令和4年度の実績の説明とさせていただきます。

委員 外国語図書の本数は伸びているが、これを借りる子どもはどのようなのでしょうか。外国の方が図書館を利用する率などは伸びていますか。

事務局 鶴城小学校カラフル（日本語初期指導教室）に通うお子さんが年3回、1回につき15～20名ほどのお子さんが図書館見学に訪れるため、使い方の説明や貸出カード、読書通帳の発行をしています。窓口を訪れる外国の方に関しては、体感として利用は少なくないと感じます。利用者の母語が外国語かどうかは統計で出せないが、外国語の本がどれだけ貸出されているかはわかるので、今後は把握するようにします。

委員 ブックスタートフォローおはなし会について、減ったということですが、どのように開催していますか。

事務局 未就園児向けにおはなし会を行っています。ブックスタートで配布する絵本「いないいないばあ」だけでなく、ほかの赤ちゃん絵本も読んでいます。

委員 ブックスタートに関係するかもしれませんが、小学校に入学する以前に、本を介して触れ合う、温かい子育てをしてほしいと思っています。本をツールにして、お母さんお父さんが子どもを膝にのせて、生の声で本を読んであげると、子どもって柔らかい心が育まれます。私（教師）の立場でも生の声で本を読んであげると、小学6年生でもよく聞いてくれる。このような経験を若いお母さんお父さんに経験してほしいと思っているので、ブックスタートはとても良いと思います。

委員 「障害のある子どもが利用できる資料を充実する」の資料数642点の利用率を教えてください。資料を揃えるだけでなく、どう使われているかを検証できると読書活動の推進に効果があるといえるので、今後は、備考欄の所に利用率を入れていただくと良いと思います。

事務局 年報から令和3年度の点字の貸出は400冊、令和4年度は339冊です。

委員 642冊点は単年度で購入した点数ではなく、令和4年度末の所蔵数ということだが、資料に関しては延べ数、その他は単年度の数値が記載してあり分かりにくい。どちらの数値か明記してください。

委員長 次に、第4次計画について令和5年度見込みの説明をお願いします。

事務局 お手元の「第4次施策達成進捗状況表（令和5年度見込み）」をご覧ください。令和4年度の実績と同様に、各担当課から令和5年度の見込みを提出していただきましたので、その内容を反映させています。

通し番号1 新規で重点項目にしました「読書通帳の推進」では、「読書通帳を使用している中学生以下の割合」が令和9年度に35%になることを目標にしました。西尾信用金庫様からの読書通帳の寄贈により、小学生から中学生の全てのお子さんが読書通帳を持っています。しかし、実際に図書館に足を運んで読書通帳を使用するのが全てのお子さんではないため、その割合を増やしていくことを目標としています。令和3年度が22%、令和4年度が28%の実績があり、令和5年度は29%の予測にしました。（小中学生だけの割合だと、令和3年度29%令和4年度34%）

通し番号10「資料が利用できる場の開設を支援」では、資料が利用できる場の施設として、中央ふれあいセンター、米津ふれあいセンターの2か所にマンガ文庫が設置されました。第2期生涯学習計画が令和5年4月から始まり、その中のアクションプランに「マンガ文庫の設置」がうたわれていますので、今後も他のふれあいセンターに増設される予定です。

次に、基本方針2の学校等における取組では、通し番号22をご覧ください。「司書教諭・学校司書と連携し、学校図書館を利用した授業の充実」では、令和3年度の実績51%に対して91%の見込みと大幅に伸びています。これは、第4次計画では、司書教諭だけでなく、「学校司書と連携し」の文言を追加し、幅を持たせたことで目標値を大幅に上回ったことによります。

また、通し番号25「学校規模に合わせた図書資料の購入」と26「学級文庫の図書資料の充実」に関しては達成見込みが60%台で、目標指数を下回る予測となっています。

次に、基本方針3の図書館における取組を見ていきたいと思えます。通し番号31「おはなし会等の実施」では、ボランティアのおはなし会が再開されたことにより、おはなし会の日数がコロナ前にはほぼ戻ったことで、見込み数が目標値より大きく伸びています。

また、新規に重点項目とした通し番号32「多言語版の利用案内等の作成」では、7か国語に対応した図書館の利用案内を作成しました。（インドネシア・スペイン・タガログ・ベトナム・ポルトガル・英語・中国語）次は、貸出カード申請書を作成していくことを目標にします。

また、同じく新規で重点項目としました41「中高生向け電子書籍の充実」では、年70冊の電子書籍を購入しました。今後は、購入する事だけでなく電子書籍の利用を推進することを併せて考えていく必要があります。

その他、新規で重点項目としました49「長期読物セットの利用推進」では、学級文庫として学校に貸出している長期読み物セットの本が古くなり、痛みが激しくなっていることから、古い本との入れ替えを行うこととしました。令和5年度では、およそ455冊の入替えを行います。これにより子どもたちが読みたくなる読物セットを作り、学級文庫の活性化に貢献します。

最後に、基本方針4の子どもの読書活動を推進するための理解・関心の普及とネットワーク化では、通し番号60「図書館システムのネットワーク化」をご覧ください。令和5年11月に、予約資料の受取施設である横須賀ふれあいセンターに図書館情報システムを設置しました。これまで

は、図書館システムが無いと、貸出・返却・予約状況などを利用者から質問されても本館へわざわざ問合せする必要がありましたが、システムが設置されたことでその場で回答でき、利用者の利便性がアップしました。今後は、同じような予約資料の受取施設のふれあいセンターにも設置を検討してまいります。

以上、第4次計画、令和5年度の見込みの説明とさせていただきます。

委員 読書通帳は紙ですか。電子化されて、スマートフォン上で何かできますか。

事務局 読書通帳は銀行の通帳と同じような形で、紙できています。図書館に印字できる機械があります。スマートフォンで確認できるのは読書記録で、貸出カードとパスワードを持っていれば確認することができます。

委員長 読書通帳を持っています。何を read のかわかってとてもいい。

委員 私も持っています。read 本の値段が出るので、いくら分本を read かわかります。子どもはそこがうれしいようです。

委員 この頃おはなし会離れを感じますが、本館ではどうですか。

事務局 おはなし会参加者の低年齢化が目立っています。時代的に子どもが一人で出歩くことが難しくなっていることも要因ではないでしょうか。また、コロナで参加者が減少し、いまだに元に戻っていません。他の市町の図書館を含め、図書館の利用者自体も戻っていないけれど、読書通帳を開始したため、西尾市は子どもの利用（貸出冊数）は戻っています。

委員 子どもの支援センターが地域にあると思うので、そこに出向いて読み聞かせをすれば既に入人が集まっているのでお互いにいいのではないのでしょうか。視点を少し変えて、図書館が出向いてもいいのではないのでしょうか。

委員 データの確認ですが、「おはなし会等の実施」に関しては、1人も来なかったのも数に入っていますか。入っているなら、実際とはかけ離れた数値なので入れない方がいいと思います。また、外国語児童図書の充実の1440冊も延べ数であることを明記してください。また、多言語版利用案内等の作成は貸出カード申請書が未実施ということですが、利用案内とセットだと思うので早く実施してください。また、マンガ文庫は、図書館で除籍するマンガがありましたら融通してください。また、図書館システムのネットワーク化で未実施の2か所の候補はありますか。

事務局 図書館システムのネットワーク化の施設に関しては未定なので、皆さんからのご意見を参考にしていきます。

委員 およこ読書ノートと読書通帳との違いはありますか。用途は違いますか。

事務局 およこ読書ノートは、自分がread 本をread 人が手書きで書いています。読書通帳は、図書館で借りた本を図書館にある読書通帳機に印字します。用途の違いはあまりありません。読書通帳を導入した時におよこ読書ノートをやめようとしたが園からの要望で続けています。

委員 園児全員に配っているのに、使われていない人にも配るのはもったいないと感じました。作成の労力とニーズがミスマッチなのかと感じます。

委員長 学校司書の配置について、人数はどうですか。

委員 35校20人の学校司書を配置しており、1人が複数校を兼務しているため、配置率は100%となっています。

委員長により令和5年度子ども読書推進委員会を閉会した。